



「市民の安全安心のため今後も尽力を」と述べる市長



水の力を弱め堤防決壊を防ぐ月の輪工法



堤防からの越流を防ぐ積み土のう工法

東日本大震災により河川の堤防が被災している現状に加え、これからの出水期に備えるため、市水防訓練が6月26日、市内消防団員など約280人が参加し市内3会場で行われました。

訓練は、水防体制を強化することを目的に市内各地区の消防団が、東部地区（登米町日根牛土手）、南部地区（米山町中津山運動場）、北部地区（迫町長沼多目的広場）の3会場に別れ、各団ごとに水防工法訓練を行いました。

訓練開始に先立ち、北部会場では対策本部長の市長が「本日の水防訓練は、震災で河川の堤防が被災している現状を踏まえ、工法技術の向上はもとより、河川重要箇所の現場調査も実施されるなど大変有意義な訓練となるものです。技術の練磨と心身の鍛錬をはかり、今後も地域防災のため尽力願いたい」とあいさつを述べました。

各団は本番さながらの真剣な様子で日ごろ鍛えた技術やチームワークを披露しました。

訓練では、各支団の団員が堤防の越水を防ぐ「積み土のう工法」、漏水の圧力を弱めて漏水量を軽減させる「月の輪工法」などの水防工法訓練のほか、東日本大震災による堤防の亀裂や沈下などの水防危険箇所の巡回調査が実施されました。

水害から市民を守る技術を習得

市内3会場で市水防訓練

つを述べました。

優れた技術や対策を評価

平成23年度登米市 優良工事施工業者表彰式



優れた安全管理や施工体制に対して表彰状を贈呈

市役所迫庁舎で7月5日、「市優良工事施工業者表彰式」が行われました。

この表彰は、施工体制や安全管理などで他の模範となる工事を施工した業者を表彰し、工事の施工意欲や質的向上を図ろうとするものです。

の只野代表取締役が「今後も安全を第一に、スピーディーかつ真心を込めた工事を施工していきたい」と述べ、一層の取り組みを誓いました。

表彰式では市長が「震災の対応をはじめ、今後社会資本の整備に活躍いただきたい」とあいさつを述べた後、平成22年度中に完成した300万円を超える市発注工事198件の中から選考された5社に表彰状が贈られました。

受賞者を代表してのあいさつでは、株只野建設



優良工事施工業者として表彰を受けた5社の皆さん

仮面ライダーからのエール

俳優「藤岡弘」さんが避難所を訪れ被災者を支援



「子どもは宝、一緒に頑張ろう」と述べる藤岡さん

漫画家故石ノ森章太郎さん原作の「仮面ライダー」シリーズで、ライダー1号に変身する本郷猛を演じた俳優の藤岡弘さんが7月3日、東日本大震災で被害を受けた南三陸町の住民が避難する登米公民館を訪れ被災者にエールを送りました。

藤岡さんは「子どもは宝、子どもは世界の財産。子どもたちの笑顔を見ると明るい未来を感じます。時間は掛かるとは思いますが一緒に頑張りたい」とあいさつ。その後、避難している子どもたちと文房具200セットやTシャツ、大人には自らプロデュースする「藤岡、珈琲」のドリッパックなどの支援物資を渡したほか、市に義援金を贈呈しました。

藤岡さんの訪問に避難所の生活を続けている男性は「自分が子ども時代に憧れたヒーローに会えて、子どもも自分も元気をもらった」と笑顔を見せていました。



児童一人一人に声を掛け、文具をプレゼント

被災者の就労拡大に大きな一歩

情報サービス業「DIOジャパン」の立地が決定



調印し握手を交わす三浦副知事（左）小島代表取締役（中）布施市長（右）

電話による宿泊の予約受付業務などを行う「DIOジャパン」（本社、愛媛県）が登米市への立地を決め6月22日、宮城県庁で立地協定の調印式が行われました。

調印式では、小島代表取締役が「雇用を通して被災者支

援ができないかと立地場所を探していた。多くの雇用を生めるようがんばりたい」と立地に当たつての思いを述べ、市長は「被災地の復興や地域にとつても雇用ができるというところは、何よりもありがたいニュース」と歓迎のあいさつを述べました。

災害の被災者を中心に初年度100人、来年度には300人のオペレーターを採用する予定です。宮城県への企業進出としては震災後初めてで、復興に向けた大きな第一歩となるものと期待できます。

運営は、DIOジャパンが支援する「東北創造ステーション」が行い、オペレーターの研修が終了する今年の9月から、本格操業を予定しています。

（約330平方メートル）を借り、約100席の電話ブースを設置し今後、オペレーターを養成しながら、宮崎県のコールセンターから移管するホテルの宿泊予約受付などの業務を行います。

雇用に関して



被災者支援と雇用創出を胸に立地協定書にサイン